

テストベッドDCCSを活用することで AI基盤モデルの学習に必要なデータの効率的な共有が可能に

研究テーマ

多様なデータの連携に関する評価のためのデータ利活用基盤の研究開発

研究実施機関

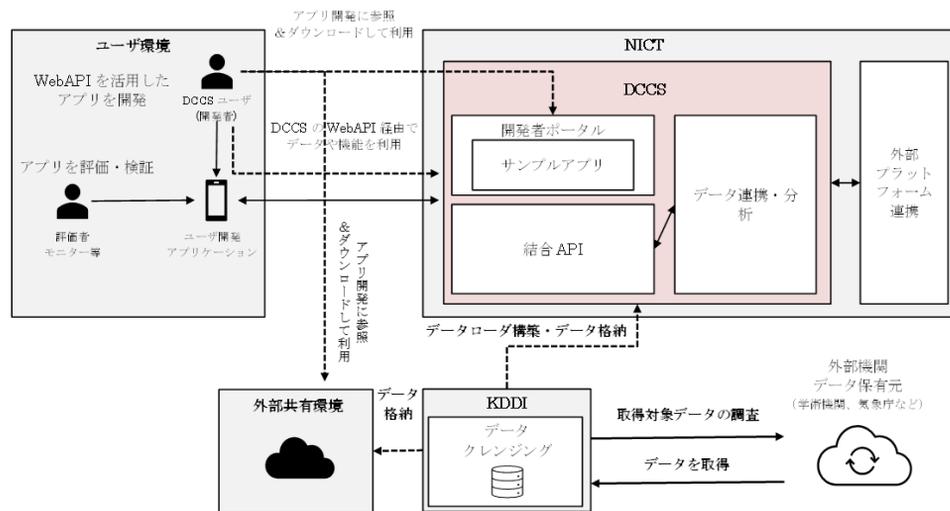
KDDI株式会社、日本電気株式会社

研究の概要

AI学習には多量なデータが必要となるが、規制やプライバシー観点等により、分野横断的なデータの取得共有が容易ではない。そのため、データを直接共有することなく学習可能な技術として、マルチモーダルAI、エッジAI、連合学習の3つの要素技術の研究と、それらを組み合わせた分散型機械学習システムを試作し、具体的な社会実装シーンを想定した技術実証を推進するためのデータ利活用基盤に関する研究開発を行う。

NICT総合テストベッドを 活用した研究成果

DCCSのWebAPI経由にて、各社が複数種類の学習用データへのアクセスが可能となっており、本データを活用したAI基盤モデルの創出が行われている。各社がAI学習用データを効率的に取得するための基盤としてDCCSを活用し、公開データ（気象データ等）の取得及びデータクレンジングを通じ、DCCSへの格納を実施した。



全体構成図